



第1号 6月10日



「同朋大学子育て教室」ひよこだより



こんにちは。私たちは保育士のたまごとして日々勉強に励み、多くのことを学んでいます。今の私たちとよちよち歩きの子どもたちとを重ね、「ひよこだより」という名称で、子育て教室の様子を紹介いたします。子どもたちと一緒に遊んでいく中で、様々な経験を重ね、多くのことを学び、共に成長していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

編集長 3年生 岩崎浩子

【今回は学生が見た様子を皆さんにお伝えします。】

DO ホールの1階ギャラリーで行っています

お面づくり



ぬりえに興味のある子はペンやクレヨンを使って好きな色で好きなように塗るのを楽しんでいました。ここでは、ペンの持ち方やハサミの使い方を知ったり、ノリの特性を感じとったりなどいろいろなことが自然に身についていくと思いました。

ハサミは危険のないように、一緒に持って手助けすることも必要でした。お面が完成し頭につけてみると、すごく嬉しそうな表情を見ることができて良かったです。 さき

ボールプール

プールの中に入ってボールをかき混ぜて遊びました。2歳くらいになると、自分からプールの中に入っていました。私がボールを投げると投げ返してくれたり、「ちょうだい。」と言うと渡してくれたり、プールの外にボールを投げて「拾って」と言ってなと思える子もいたりして、投げたり拾ったり渡したりを楽しみました。プールの中にどっぷり浸かって泳いでいる子や、静かに座っている子いて、動くボールをじっと見る子など、興味のもち方は様々でしたが、遊び始めるとずっとそこで遊ぶ子が多いことに気がきました。 ちさ





子どもがころころトレインにとっても興味をもってカタカタ落ちる音を楽しんで笑っていました。隣で車を動かして遊んでいた子どものおもちゃに興味もって寄ってきて、笑顔で見ているので「速いねー、おもしろいねー」と声をかけました。見ているだけで楽しそうでした。しばらくして、車を渡すとすぐに動かし、ニコニコ笑顔で動く車を見ていました。

子どもは気に入ったおもちゃを見つけるとずっと遊ぶということが分りました。

また、そんな無邪気な笑顔が可愛くて保育士になりたいと改めて思いました。 えみこ

木のおもちゃ



ままごと



ナスやニンジンを切ってお皿に盛りつけしたり、ビーズをカレーに見たてて私へ差し出してくれたりして、とても温かい気持ちになりました。1歳未満の子は切ることを楽しみ、1歳を過ぎるとお鍋で料理するようになるなど、年齢によって遊び方が違いました。みんなおままごとが好きなんだと感じました。 ゆき



同朋大学子育て教室のよさは、学生がお子様と一緒に遊ぶことができることです。

学生は「子どもがかわいい」と、喜んで DO ギャラリーの準備をしたり、次回はどんなことを一緒に遊ぼうかと相談したりしています。片付けながら「ちゃんタッチしてくれたのよ」と、一緒に遊んだことをにこにこ話したり、毎回の記録に「お母さんから『ここで糊の使い方を知ったので、家でもぺたぺた使うようになりました』と聞き、うれしかった。」と書いたりして、お子様や保護者の方とのかかわりを心から楽しんでいます。お子様と遊ぶことが楽しく、保護者の方が優しく学生に話しかけてくれることもうれしく、学生たちは、「子育て教室」でお子様と遊ぶことを楽しみにしています。

私もボールをボールの家の屋根から繰り返して転がしたり、転がったボールを追ったりする姿から、探索し、気付き、発見し、創意工夫する、乳幼児期の「学び」をこの場で、皆様にお伝えすることができました。

次回は A コース最後の日になります。6月10日の様子は、次回の「ひよこだより 2号」でお知らせすると学生たちは張り切っていますので、いろんな遊びを楽しんでください。

また、学生に声をかけてやってください。

子ども学専攻 木村美知代

レイアウト としき

